

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	救急救命士養成事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	救急救命士法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 5 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		救急			
施策	3	救急救助・医療体制の充実			
基本事業	1	救急体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ①消防吏員のうち、救急課程修了者で救急業務を5年以上、または2000時間乗務した者 ②救急救命士の資格を取得した消防吏員														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	①救急救命研修所へ派遣し救急救命士資格を取得させること ②認定救命士の資格を取得させること														
事業計画	28年度に何を計画していたか	救急救命研修所へ派遣 救急救命士資格を持っている者の採用に関する事 認定救命士研修へ派遣														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士の乗車率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
救急救命士の乗車率	100	100	100	100	100	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	週休日、当務日の隊員の割り振り 職員を研修所等へ派遣						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	救急救命士(実働数)	17	17	18	19	20	
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	救急救命士の乗車率		100	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	3,872	3,872
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	3,872	3,872
		決算額	0	0	0	0	3,562	3,562
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.1	0.0		713		4,275	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	3,221	3,562	3,470	3,470	3,470
	うち一般財源	3,221	3,562	3,470	3,470	3,470
	人件費	686	713	713	713	713
	総事業費	3,907	4,275	4,183	4,183	4,183

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		100%乗車させたことにより応急処置等一定の質が確保できた。
	効率性	A:効率的だった		隊の割り振り等により効率的に目標を達成できた
②成果に対する評価	指標名	救急救命士の乗車率		目標としていた、救急救命士の救急車乗車率100%を達成できた
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		計画通り、救急救命研修所や研修等に派遣させることができた

◎今後の方向性(ACTION)

課題	今後も継続していけるよう計画的に救急救命士養成に努める				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	計画通り、救命士の養成、研修等に派遣する			
	H30年度	計画通り、救命士の養成、研修等に派遣する			